

## 大会宣言

陸運業は、我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核として重要な役割を担っている。陸運業がその役割を果たしていく上で、そこで働く人々の安全と健康を確保していくことは必要不可欠である。

陸運業における労働災害は、会員事業者のたゆまぬ努力により、長期的には、減少傾向にあるが、近年、横ばいから増加傾向となっている。平成二十五年における労働災害は、本部、支部、会員事業者が一丸となって労働災害防止活動に取り組んだ結果、死亡災害は百七名と過去最少となったものの、死傷災害については、増加となり、平成二十二年から平成二十五年まで四年連続で増加となったところである。さらに、平成二十六年に入り、死亡者数、死傷者数とも前年に比べ増加していることから、厚生労働省より当協会に対し、本年八月、「労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請」がなされた。これを受け、当協会としては、「職場の安全衛生自主点検」の実施をはじめ、トラックからの墜落災害防止についての啓発、荷役ガイドラインの周知等の取組を強化しているところである。

我々は、このような労働災害の動向等を踏まえ、昨年策定した「労働災害防止五か年計画」の目標達成に向けて、決意も新たに労働災害防止活動を展開していかなければならない。

本年は、陸運業における自主的な安全衛生活動の促進を目的に当協会が設立されてから五十周年に当たる。このことを想起し、改めて、労働災害の絶滅に向けての思いを新たにするものである。

陸運業界は厳しい経営環境に置かれているが、我々は、人命尊重の理念の下に、労働災害の絶滅に向け積極的に取り組むとともに、健康で安心して働くことができる職場環境を実現し、企業並びに業界の発展に寄与するものとする。

このため、次の六項目を重点に、より一層努力を重ねていくことをここに誓う。

- 一 経営首脳が先頭に立った安全衛生活動の積極的な推進
  - 一 荷役運搬作業時の労働災害の防止
  - 一 交通労働災害の防止
  - 一 健康確保対策の推進
  - 一 安全衛生意識の高揚
  - 一 リスク低減の取組の推進
- 右、宣言する。

第五十回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会

平成二十六年十一月十九日